

第 23 期第 3 四半期累計期間の業績のご報告 (2018 年 7 月 1 日～2019 年 3 月 31 日)

2019 年 5 月 吉日
日本システムバンク株式会社
代表取締役社長 野坂 信嘉

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調にあるものの、保護貿易主義を巡る各国の対立激化や金融政策動向の影響が懸念されるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

駐車場業界におきましては、慢性的な駐車場不足により都市部を中心として高い駐車場需要はあるものの、訪日外国人の増加による宿泊需要の高まりを受け、駐車場から宿泊施設への転用や土地の賃借料の高騰など、厳しい事業環境となりました。

このような状況の中、当社は、利用者には選ばれる駐車場の提供を目標に、「便利で快適な駐車場づくり」に注力致しました。

利便性向上の面では、スマートフォンでの駐車場の検索から利用料金の決済可能なサービス「SmooPA」の普及に注力致しました。また、快適性向上の面では、コールセンターシステムを刷新し情報の活用を進め、トラブルが発生しない駐車場づくりの推進に注力致しました。

事業区分別の業績は以下のとおりです。

【コインパーキング(以下 CP)事業】

CPシステム運営事業では、積極的な営業活動を行い、新規駐車場の開設を進めました。既存駐車場においては、駐車場の需給バランスを考慮した料金設定の最適化を継続的に実施して収益力の向上に努めて参りました。その結果、同事業の第3四半期累計期間の売上高は、2,243,452 千円(前年同期比 102%)となりました。

CPシステム販売事業では、管理受託駐車場数の増加によりメンテナンス売上は堅調に伸びましたが、得意先の新規駐車場の開発計画が減少傾向となったことにより駐車場システムの販売が減少した結果、同事業の第3四半期累計期間の売上高は、2,200,116 千円(前年同期比 100%)となりました。

これらの結果、同事業全体の第3四半期累計期間の売上高は、4,443,569 千円(前年同期比 101%)となりました。

【プロパティマネジメント事業】

プロパティマネジメント事業は、「満室経営」を目指し、物件の稼働率の向上に努めました。同事業の第3四半期累計期間の売上高は 173,717 千円(前年同期比 96%)となりました。

以上の結果、第3四半期累計期間の売上高は 4,624,382 千円(前年同期比 101%)となりました。

| 事業区別 | 金額 | 前年同期比 |
|---------------|--------------|-------|
| コインパーキング事業 | 4,443,569 千円 | 101% |
| プロパティマネジメント事業 | 173,717 千円 | 96% |
| その他 | 7,494 千円 | 80% |
| 計 | 4,624,382 千円 | 101% |
